

TKK3 大学連携プロジェクト

平成22年第1回FD・SD合同研修会実施報告書

1. 背景

平成22年度より、東北福祉大学（宮城県）と工学院大学（東京都）、神戸学院大学（兵庫県）による遠隔授業システムを用いたリアルタイム配信講義を開始した。前期講義が終了した今、システム操作や受信側学生の受講状況、授業運営方法等、スタッフ・教員が共に取り組むべき課題が見えてきた。

2. 目的

各大学における遠隔授業システム全体の流れを把握し、課題と対策（ハード面・ソフト面）を共有し、また効果的な遠隔授業の運営方法を教職員ともに議論・模索することで、今後の遠隔授業の質向上を目指す。

3. 日時

2010年9月9日（木） 9：50～15：40

4. 会場

神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館3階 B315 演習室

5. 参加者リスト

- ・TKK 連携科目担当教員：3名
- ・遠隔システム関連業者：3名
- ・TKK 遠隔システム操作スタッフ：6名
- ・神戸学院大学情報支援グループ：1名
- ・学生：2名
- ・オブザーバー：1名

6. スケジュール

時間	内容
09：50～10：00	開会、参加者紹介
10：00～10：20	①学生・教員のアンケート調査結果の発表、共有
10：20～10：30	②遠隔授業運営フローの概要説明
10：30～14：30 (昼食・休憩含む)	③課題の確認と分析 運営のフローに沿って、課題についてディスカッション
14：30～15：30	④アクションプラン作成 ①～③で出た課題と対策をまとめ、行動計画策定
15：30～15：40	講評、閉会

【要約】

3 大学の遠隔授業に関するアンケート調査の報告、遠隔授業の課題を確認しながら、様々な立場（教員・スタッフ・遠隔システム関連業者・学生）から対策等について話し合い、その結果をもとに、「より良い遠隔授業を行うために」アクションプランを作成した。

① 学生・教員のアンケート調査結果の発表、共有

3 大学の遠隔授業に関するアンケート調査結果によると、「配信側」と「受信側」を比較したところ、「音声」、「カメラの映像」、「コンテンツの映像」等といった「受信側」に関する課題が多いことが判明した。

② 遠隔授業運営フローの概要説明

TKK3 大学遠隔授業運営フローについて説明した。遠隔授業運営フロー説明の目的は、遠隔授業を行う際に教員や担当スタッフがそれぞれどのような作業や対応をするかについて、参加者全員で共有するためであった。

③ 課題の確認と分析

遠隔授業運営フローに従って、課題確認と分析を行った。参加者の活発な意見交換を促すため、ワークショップ形式を用いた。まず、「意見を否定しない」、「質より量」、「楽しく明るく元気よく」といういくつかのルールを決め、ワークショップにおいて参加者が発言しやすい環境を作った。

はじめに各大学における遠隔授業の課題と現状、どのような課題がなぜ起きたのかについて課題分析を行った。課題を「準備、講義前段階」、「講義中（システムに関する課題・システム以外の課題）」、「講義後」のそれぞれの段階で整理した。課題をまとめると、「準備、講義前段階」に関しては、配布資料の共有が講義直前であるという課題、「講義中（システムに関する課題・システム以外の課題）」に関しては、遠隔授業にメリットをあまり感じていない学生が目立つ（特に配信側）、ネットワーク状況により音声がかかることもあるという課題があった。



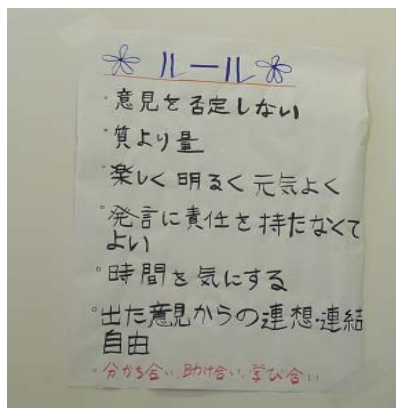
TKK 学び合い連携センター長の挨拶



遠隔授業に関するアンケート調査結果発表



3大学の遠隔授業運営フローの説明



FD・SD 研修会のルール

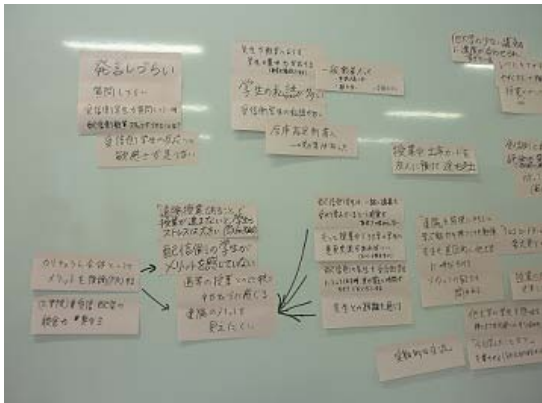


遠隔授業を担当するスタッフ、教員、学生、遠隔システム関連業者の方々が遠隔システムに関する課題と対策方法など様々な意見を交換する



④ アクションプランの作成

参加者全員で洗い出した課題を改めて整理し、優先順位の高いものから「対策」、「いつまでに（期限）」、「責任者」、を決め、アクションプランを作成した。



取り上げた課題をグルーピング



前半に洗い出した課題のまとめ



アクションプランの作成①



アクションプランの作成②

今回のFD・SD研修会を通して、3大学間のスタッフなど遠隔授業の関係者が一同に会して意見交換をすることができた。また、今後より良い遠隔授業を行うために、スタッフ・教員が共に取り組むべき課題を全員で確認し、対策や方針、今後の行動を具体的に作成することができた。

以上